



第2次指宿市望ましい学校づくり基本方針（概要）



市教育委員会では、中学校の再編を検討しています！！

（R3.9 第2次指宿市望ましい学校づくり基本方針 策定）

教育委員会の中学校再編の方針（概要）

指宿市では、少子化や過疎化により市内の生徒数が減少しており、今後も減少傾向が続くものと見込まれます。

生徒数の減少により、学級数が全学年1学級となっている西指宿中学校と開間中学校については、学習環境の改善を図るため、早期に学校再編を目指します。

また、学校施設の老朽化なども考慮し、30年後には、中学校は、市内で2校か1校に学校再編するよう、将来を見据えた望ましい学校づくりを進めます。

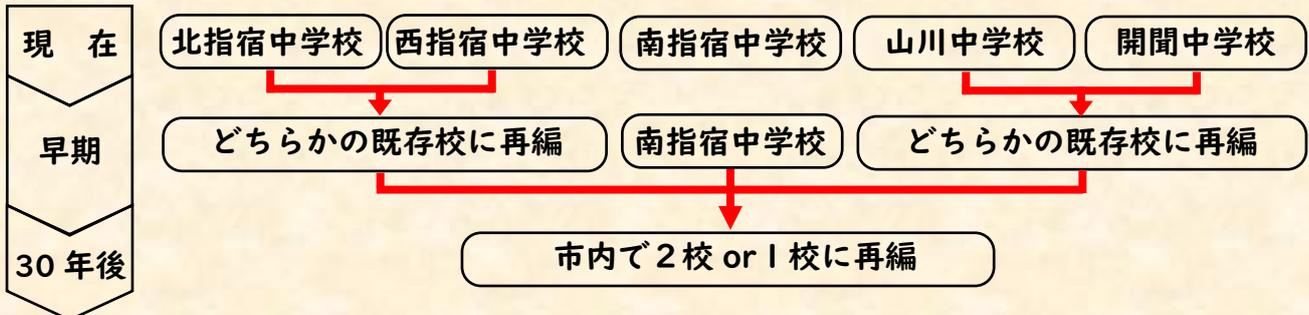
基本方針の全文はコチラ



pdf(527KB)



中学校再編のイメージ



なぜ
中学校を
再編するの？



指宿市の望ましい学校規模

中学校全体で、9学級～18学級
1学年あたり、3学級～6学級

総合的に考えると、
中学校はある程度の
学校規模が必要と
考えたみたいじゃ！



① 生徒数の減少

昭和30年代のピーク時に約5000人いた生徒数は、現在、約1000人となり当時の2割程度です。

今後、人口減少に対する様々な対策を実施しても、30年後には約600人に減少すると見込まれます。

② 生徒数の減少に伴う学級数の減少

生徒数の減少に伴い学級数も減少しています。

各学年1学級：西指宿中学校、開間中学校

各学年2学級：山川中学校

各学年3学級：北指宿中学校、南指宿中学校

③ 学級数や生徒数が少ない学校の課題

- ・ 集団の中で、多様な考え方に触れる機会や学びあいの機会、切磋琢磨する機会が少なくなりやすい。
- ・ 各教科の免許を持つ教員を配置しにくい。
- ・ 生徒の人間関係や相互の評価が固定化しやすい。
- ・ 学校行事等の集団教育活動に制約が生じやすい。
- ・ 部活動が制限され、選択の幅が狭まりやすい。
- ・ PTA活動等における保護者一人あたりの負担が大きくなりやすい。

※ 小規模校の一般的な課題であり、学校ごとに課題は異なります。

発行元

指宿市教育委員会 学校整備室
〒891-0497 指宿市十町 2424 番地

☎0993-22-2111 FAX0993-22-2154

✉kyoiku-seibi@city.ibusuki.jp

